

提出 2012 年 2 月 2 日

会合議事録

研究会名：高圧物性科学・地球惑星科学合同研究会

日 時：2012 年 1 月 5 日～2012 年 1 月 6 日

場 所：SPring-8 普及棟大講堂

出席者：計 4 4 名（参加者氏名は別紙記載）

議事録記載者：石松直樹、久保友明

議題：高圧物質科学研究および地球惑星科学研究に携わる研究者間の研究成果および技術ノウハウの講演・情報交換、今後の運営に関する議論

議事内容：1 日目は高圧物性および地球惑星、高圧実験技術の最近の研究成果について講演を行った（4 件）。その後、ナノ多結晶ダイヤモンドに関するミニセッションとして、この材料を用いた高圧科学研究が 4 件講演された。講演を通じて高圧物性・地球惑星の分野を越えた活発な情報交換がなされた。2 日目は、まず 3 件のビームライン報告があった。その後の総会において SPring-8 の次期計画、SPring-8 利用者懇談会の再編、ビームタイム終了後の成果公開、の 3 事案について報告・説明がなされた。閉会后、各研究会の総会が行われた。以下に別紙として、次の資料を添付する。

別紙 1 参加者氏名

別紙 2 地球惑星科学研究会 総会議事録

別紙 3 高圧物質科学研究会 総会議事録

別紙 4 研究会プログラム

参加者氏名

入船徹男	愛媛大学	増田亮	日本原子力研究開発機構
周春銀	愛媛大学	三井隆也	日本原子力研究開発機構
西原遊	愛媛大学	遠藤成輝	日本原子力研究開発機構
西山宣正	愛媛大学	青木勝敏	日本原子力研究開発機構
大内智博	愛媛大学	町田晃彦	日本原子力研究開発機構
森嘉久	岡山大学	片山芳則	日本原子力研究開発機構
浦川啓	岡山大学	綿貫 徹	日本原子力研究開発機構
奥地拓生	岡山大学	齋藤寛之	日本原子力研究開発機構
山崎大輔	岡山大学	松井正典	兵庫県立大学
中塚明日美	岡山大学	赤浜裕一	兵庫県立大学
米田明	岡山大学	福井宏之	兵庫県立大学
芳野極	岡山大学		
小澤春香	海洋研究開発機構		
岡本真琴	九州国際大学		
久保友明	九州大学		
佐藤友子	広島大学		
石松直樹	広島大学		
大石泰生	JASRI		
舟越賢一	JASRI		
水牧仁一朗	JASRI		
肥後祐司	JASRI		
平尾直久	JASRI		
國本健広	JASRI		
角谷均	住友電工		
瀬戸雄介	神戸大学		
寺崎英紀	大阪大学		
松岡岳洋	大阪大学		
清水克哉	大阪大学		
大高理	大阪大学		
中本有紀	大阪大学		
西田圭佑	東北大学		
Yagafarov Oscar	日本原子力研究開発機構		
稲見俊哉	日本原子力研究開発機構		

会合議事録

研究会名：地球惑星科学研究会

日 時：2012 年 1 月 6 日(金)

場 所：SPring-8 普及棟大講堂

議題 1) 研究会新体制

議事内容：来年度からの地球惑星科学研究会役員として以下の会員を選出し承認された。事務局を設置するかどうかについては、新代表を中心に年度内までに検討することとした。

代表 西原遊（愛媛大 SRFC）

副代表 寺崎英紀（大阪大理）

議題 2) 高圧力学会の研究作業グループ「コヒーレント放射光を利用した新しい高圧科学」の発起人について

議事内容：本研究会から 2 名の発起人を出すように要請があり、新旧役員の中から 2 名を選出することとした。

議題 3) BL04B1 の持ち込み共同利用装置、GRC の共同利用・共同研究拠点化、大型研究について

議事内容：入船（愛媛大学）より、GRC の共同利用化と大型研究（高圧地球科学コンソーシアム）について現状報告がなされ、引き続き研究会としても協力していくことが確認された。また BL04B1 の持ち込み共同利用装置の維持修理費について、現状では GRC がかなり負担しているが、将来的には利用者負担も視野に入れ柔軟に対応することとした。

議題 4) BL04B1 マルチアンビルビームラインの将来検討について

議事内容：SPring-8 II 以降に予想される光源特性も見据え、より高輝度、高エネルギーの白色、単色 X 線、およびコヒーレント放射光を利用した新しいマルチアンビル研究について、研究会などを開きながら検討を重ねていくこととした。

会合議事録

研究会名：高圧物質科学研究会

日 時：2012 年 1 月 6 日(金)

場 所：SPring-8 普及棟中講堂

議題 1) 研究会新体制

議事内容：来年度からの研究会役員として以下の会員を選出し承認された。

代表 清水克哉（阪大 極限セ）

副代表 齋藤寛之（原子力機構）

議題 2) 高圧力学会の研究作業グループ「コヒーレント放射光を利用した新しい高圧科学」の発起人について

議事内容：本研究会から 2 名の発起人を出すように要請があり、新旧役員を中心に研究会員から 2 名を選出することとした。

議題 3) 今後の合同開催について

議事内容：来年度も地球惑星科学研究会との合同として研究会を開催することとした。

研究会プログラム

<< 1 日目 >>

- ◆ 13:00-13:05 開会挨拶 (久保友明)
- ◆ 13:05-14:05 セッション 1 「研究発表 I (高圧物性)」(30 分×2)
座長：(綿貫徹)
- 齋藤寛之 (JAEA) アルミニウム水素化反応の放射光その場観察
- 佐藤友子 (広島大) He 中の SiO₂ ガラスの圧縮挙動
- ◆ 14:05-15:05 セッション 2 「研究発表 II (地球惑星)」(30 分×2)
座長：(山崎大輔)
- 西田圭佑 (東北大) 鉄系メルトの弾性波速度測定
- 小澤春香 (IFREE) FeO の B1-B2 相転移
- ◆ 15:05-15:30 休憩
- ◆ 15:30-17:30 セッション 3 「NPD の高圧下利用」(30 分×4)
座長：(久保友明)
- 入船徹男 (愛媛大) GRC における大型 NPD 合成の現状と、マルチアンビル装置への応用に向けて
- 中本有紀 (大阪大) NPD+DAC による超高压発生
- 石松直樹 (広島大) NPD アンビルによる glitch-free XAS の実現とその応用
- 奥地拓生 (岡山大) 小型対向アンビルセルによる微小試料の高圧中性子粉末回折実験
- ◆ 17:30-18:00 懇親会会場へ移動, チェックイン
- ◆ 18:00-19:30 懇親会 (於：食堂)
- ◆ 19:30-21:00 二次会 (於：交流施設管理棟)

<< 2 日目 >>

- ◆ 9:00-10:00 セッション 4 : 「BL 報告」(20 分×3)
座長：(石松直樹)
- 肥後祐司 (JASRI) 2011 年度 BL04B1 ビームライン報告
- 大石泰生 (JASRI) 2011 年度 BL10XU ビームライン報告
- 三井隆也 (JAEA) 高圧下放射光メスバウアー分光の現状と今後の展望 (BL09XU, BL11XU)
- ◆ 10:00-11:00 セッション 5 : 「自由討論 (議題：SPring-8 II でのサイエンスなど)」
- ◆ 11:00-11:05 閉会挨拶 (石松直樹)

- ◆ 11:05-11:15 休憩
- ◆ 11:15-11:45 高圧物質科学研究会総会 (場所を変えて平行で)
- ◆ 11:15-11:45 地球惑星科学研究会総会